



今月の
占い
1位は
牡羊座
でした。

包装の未来を支える。

ザリ森・包装資材の規格から
製造・販売まで、一貫対応。
食品用・農業用・産業用など、様々な用途に対応した包装資材を製造。
ECサイトから申込まで、お客様の課題に最適な商品をご提案します。

TEL 092-501-7361

CLICK!!



福岡ホリ株式会社

私も動画で
登場しています！

福岡ホリのホームページが 完全にリニューアルしました！

SENBAKASEI CO.,LTD.

船場化成株式会社
企業説明

人と技術で
フィルムの未来をつくる

CLICK!!



CATALOG
No.15

2026年10月発行

船場化成のカタログも
新しくなりました。



福岡ポリ 需要拡大に積極投資

袋では高い出荷実績があり、同社を印象付けユーザーから厚い信頼を得ている。

2019年6月に徳島市に本社を置く「船場化成」グループの一員となり、青森県八戸市の「三信包装」と合

でい順客サービスに連動させている。

福岡ポリで稼働するインフレ機はLEDPEが11台、HDPEが3台の合計14台を保有する他、製袋機8台を

の袋、シートをはじめ、自動包装用フィルム・米袋・肥料袋などの製品を加工している。

とりわけ地元・九州エリアは農畜産業が盛ん。同用途向けに需要も多く、同社もプロイラーなど食用用自動包装用フィルム製品などで多くの出荷実績を持つ。グループシナジーが発揮され、九州全域で引き続きシェアアップが見込まれるとの経

船場化成グループの（昭和32年）に創業。福岡ポリ（福岡市博多区、〒802-5001・7361）は、需要拡大に積極投資で対応を図る。2027年春設置稼働へ、インフレーション成膜機、巻き取り機などの設備増設を決めた。グループシナジーの進展で地元九州エリアを中心に新たな市場開拓が進み、引き続き「受注増加が見込める」（荒川正俊社長）として、生産拡充で競争優位性に拍車を掛ける考えだ。

同社は1957年



クリーン環境を整える生産場で稼働する製膜機

原材料の入荷から、製品加工、出荷までを一貫加工で製品仕上げる。三信包装は、将来的な生産体制のさらなる強化に向けても「二歩ずつ進んでいる」とし、毎年計画的に設備投資を進めていく考えだ。

営業面でも今年3月から営業体制を拡充し、新規需要の開拓を進めている。

来年6月に設立60周年を迎える同社は、インフレーションフィルムの製膜からラミネ印刷、製袋加工までを一つの工場内で行う「一貫生産体制を構築。特に食品包材に求められる防虫・衛生管理面の強みを生かし、価格競争に備えること、品質と対応力を重視した営業を展開していく。

三信包装 仙台出張所を7月に開設 生産増強へ設備投資も継続

船場化成グループの一方、製造面では福三信包装（青森県八戸市、〒0178-4301）を引き続き進めてい

市若林区に新たな出張所を開設するなど営業体制を強化して、生産の中核を担う福地工場（青森県南部町）への設備投資を継続し、将来の生産拡大に向けた体制整備を着実に進める。



来年6月に設立60周年

の対応を図り、将来の増産に向けた基盤を整えた。

今期も生産増強に向けた設備投資を計画しており、需要動向を見ながら継続的に設備を整えていく方針。石井浩太郎社長は、将来的な生産体制のさらなる強化に向けても「二歩ずつ進んでいる」とし、毎年計画的に設備投資を進めていく考えだ。

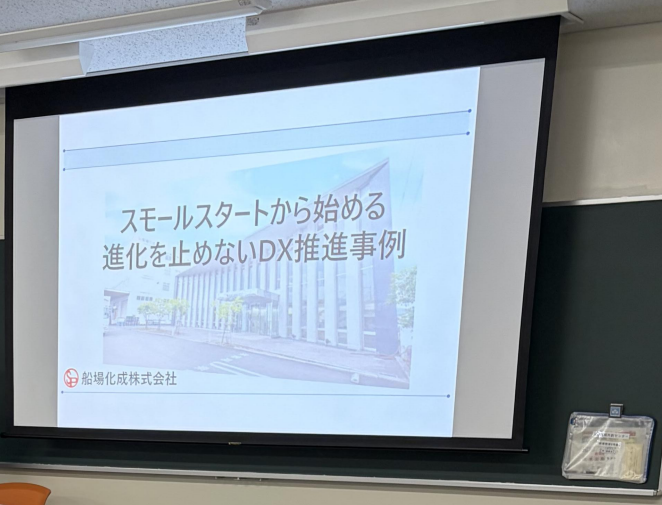
営業面でも今年3月から営業体制を拡充し、新規需要の開拓を進めている。

来年6月に設立60周年を迎える同社は、インフレーションフィルムの製膜からラミネ印刷、製袋加工までを一つの工場内で行う「一貫生産体制を構築。特に食品包材に求められる防虫・衛生管理面の強みを生かし、価格競争に備えること、品質と対応力を重視した営業を展開していく。

9/24の包装タイムスに三信包装と福岡ポリが掲載されました！

菅判断から明春の稼働を目指して生産の増強を決めた。

荒川社長は、「生産や営業分野の効率化が高まっており、15台目となる製膜機と省力化を図る巻き取り機2台の増設を計画している。引き続き関連業界で存在感を示していきたい」としている。



黒川部長が今年も徳島大学でDXの講演を行いました。

ハンガラデシュの実習生も6名採用。来年3月入社予定

